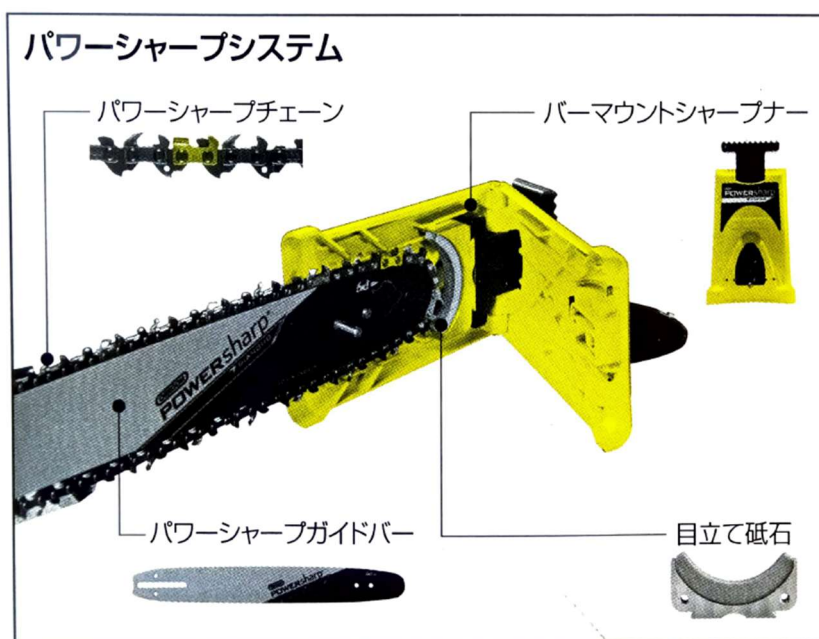




パワーシャープはソーチェーンの切れ味を素早く回復できる目立て用アクセサリです。ソーチェーンは刃先が鋭ければ木に無理に押し付けなくても食い込んで効率よくカットでき、刃の寿命も長くなります。



パワーシャープシステムは専用のパワーシャープチェーンにのみ使用できます。他のソーチェーンには一切使用できません。



警告

ご使用になる前にチェーンソー本機の取扱説明書と本取扱説明書をよくお読みの上、正しくご使用ください。誤った取り扱いをすると使用者が死亡または重傷を負う可能性があります。

製品の保障

製品に不具合があった場合は製品をご購入の販売店へご連絡ください。

ただし、下記の場合は保証の対象外となります。

- ・製品の使用に伴う経年劣化、摩耗
- ・取扱説明書の注意事項に従わない不適切な使用、および手入れによる損傷。

使用手順



- ① 目立て砥石を取り付けたバーマウントシャープナーにガイドバーを取り付けます。カバーを閉めて黒いフックが「カチッ」と音がするまで、しっかりロックしてください。



- ② チェーンを回転させながら、バーマウントシャープナーの先端スパイクを固定された場所へ押し付けます。



- ③ 約 3 秒～5 秒で目立てが完了し、素早く作業に復帰できます。



警告

ご使用になる前にチェーンソー本機の取扱説明書と本取扱説明書をよくお読みの上、正しくご使用ください。誤った取り扱いをすると使用者が死亡または重傷を負う可能性があります。

- ・ソーチェーンを取り付け・交換する際は必ずチェーンソーのエンジンを停止させてください。また、適切な保護グローブを必ず着用してください。
- ・ソーチェーンの張り調整を適切に行ってください。特に新品の使用開始時はチェーンが伸びるので、ある程度使用したらエンジンを止めて張りを再確認してください。
- ・ソーチェーンが適切に装着されていない、または張りが弱い場合、ソーチェーンがガイドバーから外れ、作業者が重傷を負う恐れがあります。



キックバックに注意

作業中にソーチェーンの先端が、木材、石などに接触した場合や、ソーチェーンが木にはさまれた場合に、キックバックが発生することがあります。作業をしている場所には、他の木材や切り株などの障害物がないことを確認してください。また必ず両手でハンドルを握ってください。ソーチェーンに接触し、重傷を負う原因となります。



パワーシャープの使い方

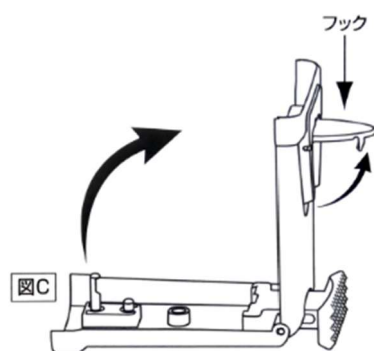
パワーシャープを使用する際は、まずバーマウントシャープナーに目立て砥石を取り付けてください。チェーンを交換するたびに目立て砥石も交換してください。



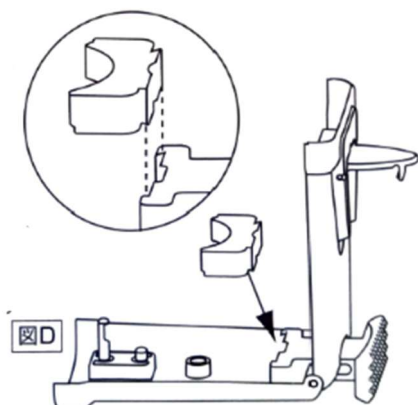
バーマウントシャープナーはオレゴンのパワーシャープチェーンにのみ使用できます。バーマウントシャープナーを使って他のソーチェーンを目立てしようとししないでください。誤った使い方をするとソーチェーン及びバーマウントシャープナーが破損する可能性があります。

目立て砥石の装着

- ① バーマウントシャープナーのフック先端を引き上げるとカバーが開きます。(図 C)



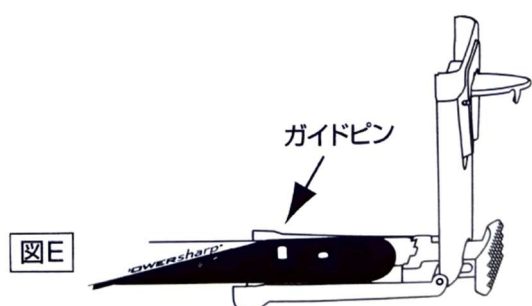
- ② カバーを開けたら、溝に目立て砥石を差し込みます。目立て中に砥石が外れないようにしっかり挿入されていることを確認してください。(図 D)



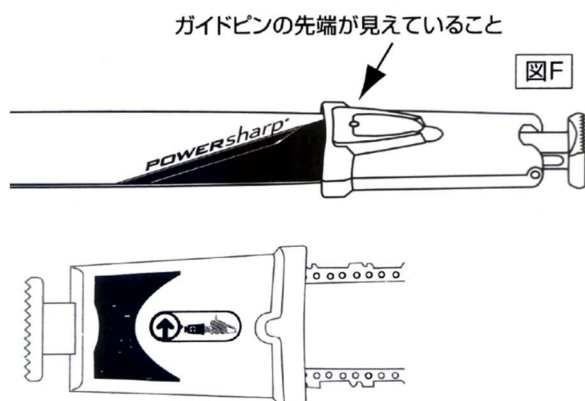
バーマウントシャープナーのガイドバーへの取り付け



チェンソーのエンジンが動いているときはバーマウントシャープナーの取り付け取り外しを行わないでください。取り付け、取り外し時には必ず手袋を着用してください。また、カバーを閉める際に指などを挟まないよう注意してください。



- ① ガイドバーを清掃し切り屑を取り除きます。
- ② シャープナーのカバーのフックを引き上げて開きます。
- ③ 2本のガイドピンをバーのガイド穴に差し込んでシャープナーをバーに対して平行にします。
(図 E)
- ④ 長い方のピンの先端がカバー上に見えるようにカバーを閉めます。
- ⑤ フックはカバーと水平になるまでしっかり閉めます。(図 F)



注: バーマウントシャープナーの矢印は必ず上向きになるように取り付けます。



フックが完全に閉まらない場合や破損した部品がある場合にはシャープナーを使用しないでください。事故の原因となることがあります。

目立て

- ① 足場がしっかりと安定していてチェーンソーを押し付けることができる固い表面がある場所を選びます。
- ② チェンソーのエンジンを始動し、刃を回転させながらバーマウントシャープナーの先端のスパイクを固い場所へ2～3 秒を目安に強く押し付けます(図 G)。シャープナーの砥石にソーチェーンの刃が接触し研磨されます。このとき火花が発生しますが、安全上問題ありません。



⚠ 製品特性上、火花が発生するため、ガソリンなど引火性の高いものがある場所では本製品を使用しないでください。

⚠ 本製品の使用前にチェーンソー、ガイドバー、チェーンに付着している燃料などの汚れをきれいに拭き取ってください。

⚠ チェーンが手や足などに触れると重傷を負う危険性があるため、バーマウントシャープナーのスパイクは決して手や足で押し付けしないでください。また、腰より高い位置や膝より低い位置でスパイクを押さないでください。

⚠ 目立て中には力を入れすぎないでください。力を入れすぎると目立ての仕上がりが悪くなる場合があります。

⚠ チェーンと砥石が接触すると摩擦熱によりバーとチェーンのオイルが加熱されるため、シャープナーから少量の火花と煙が発生します。火花と煙が大量に出た場合は直ちにスパイクを押す力を緩めてください。

バーマウントシャープナーの取り外し



バーマウントシャープナーはチェーンソーのエンジンが動いているときには決して取り外そうとしないでください。



バーマウントシャープナーを装着したまま、通常の伐木造材作業を行わないでください。



目立て中の摩擦によってバーとチェーンが熱くなっていることがあるため、バーマウントシャープナーの取り外し時には十分に注意してください。

- ① チェンソーのエンジンを完全に停止させます。
- ② フックを引き上げ、カバーを開けてガイドバーからバーマウントシャープナーを取り外します。
- ③ シャープナーはカバーを閉めてフックも閉めた状態で保管します。
- ④ チェンソーで切断作業を行い、ソーチェーンの切れ味を確認します。切れ味が悪く切削スピードが遅い場合は、刃が十分に研磨されて切れ味が良くなるまで目立てを繰り返します。

チェーンと砥石、ガイドバーの交換時期

パワーシャープのチェーンを交換するときは、目立て砥石も同時に交換してください。摩耗した砥石を使い続けるとパワーシャープの研磨効果が低下します。以下の場合もチェーンと砥石の両方を交換する必要があります。

- ・チェーンの目立ての際に生じる火花が急に少なくなったとき。この場合、砥石が摩耗しています。
- ・目立てを繰り返してもチェーンの切れ味が良くならないとき。この場合、チェーンが摩耗しています。

ガイドバーは定期的に状態を確認してください。通常ガイドバーはソーチェーンを3、4回交換するごとに1回交換します。ただし、摩耗や破損が見つかった場合はすぐに交換してください。



株式会社 **新宮商行**

オレゴンツール事業部

〒270-2231 千葉県松戸市稔台 6-7-5

電話: 047-361-4701(代)